

DIGITAL CAMERA

X-T2

New Features Guide

Version 3.00

本製品はファームウェアの更新による機能の追加／変更のため、付属の使用説明書の記載と一部機能が異なる場合があります。詳しくは下記ホームページから各機種種のファームウェア更新情報をご覧ください。

http://fujifilm.jp/support/digitalcamera/download/fw_table.html

変更項目

本製品は、X-T2 Version 2.10 使用説明書の記載内容から以下の機能が追加または変更されています。

No.	概要	X-T2 	詳細 	Ver.
1	撮影時に ヒストグラム を割り当てたファンクションボタンを押すと、RGB ヒストグラムとライブビューハイライト警告表示（高輝度部分が点滅）になります。	22	1	3.00
2	フォーカスチェックによる拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。	83	2	※
3	1 コマ再生時に ▲ を押すと表示される撮影時の情報に「ヒストグラム」表示が追加されました。	175	3	3.00
4	セットアップメニューの  接続設定 > PC 撮影モード が PC 接続モード に変更されました。	245	4	3.00
5	富士フィルムのフラッシュシステムに対応したサードパーティー製のスタジオフラッシュ用コマンドーが使用できるようになりました。	263	6	3.00
6	別売アクセサリーの instax SHARE プリンターは、SP-3 も使用できるようになりました。	304	7	3.00



Ver. 欄の※の内容は、使用説明書に不足していた説明を追加したもので、旧バージョンで搭載済みの機能です。

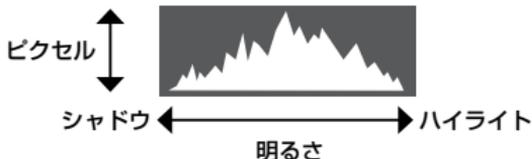
追加 / 変更内容

追加または変更になった内容は以下のとおりです。

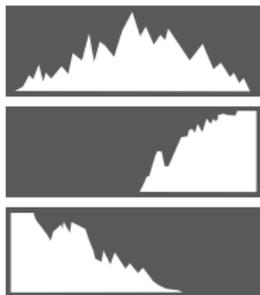
X-T2 (Version 2.10) 使用説明書： 22 「スタンダード」画面のカスタマイズ

ヒストグラム表示について

ヒストグラムとは明るさの分布をグラフ（横軸：明るさ / 縦軸：ピクセル数）に表したものです。被写体によってグラフ形状は異なります。

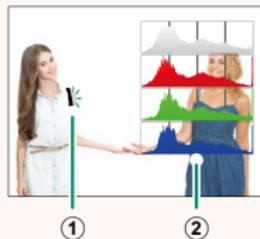


- **適正露出の場合**：全体的にピクセルの数が多く、山なりに分布します。
- **露出オーバーの場合**：ハイライトのピクセル数が多く、右に偏ります。
- **露出アンダーの場合**：シャドウのピクセル数が多く、左に偏ります。



ヒストグラムを割り当てたファンクションボタンを押すと、RGB ヒストグラムとライブビューハイライト警告表示（高輝度部分が点滅）になります。

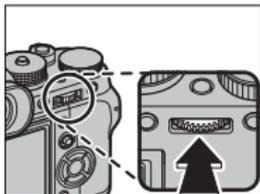
- ① 高輝度部分が点滅
- ② RGB ヒストグラム表示



フォーカスエリアの変更

拡大表示してピントを確認する

ファンクションボタンにフォーカスチェックが割り当てられているボタンを押すと拡大して表示され、ピントの確認がしやすくなります。もう一度ボタンを押すと通常表示に戻ります。拡大表示する位置はフォーカスエリア選択で変更できます。工場出荷時の設定では、リアコマンドダイヤルの中央押しにフォーカスチェックが割り当てられています。



通常表示



拡大表示



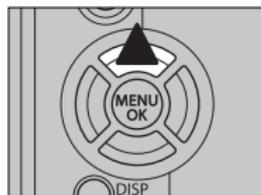
- フォーカスモードが **S** のときは、拡大表示中にリアコマンドダイヤルを回すと、拡大表示の倍率を変更できます。ただし、**フォーカス設定 > MF アシスト** で **デジタルスプリットイメージ** を設定しているときは、倍率変更できません。
- 拡大表示中にフォーカスレバーを動かすと、拡大表示のままフォーカスエリアを移動できます。
- フォーカスモードが **S** のときは、**AF モード** を **シングルポイント** に設定してください。
- フォーカスモードが **C** または **フォーカス設定 > プリ AF** が **ON** のときは、拡大表示できません。
- リアコマンドダイヤルの中央押しは、**操作ボタン・ダイヤル設定 > Fn/AE-L/AF-L ボタン設定** で他の機能に割り当てることができます。また拡大表示の機能を他のボタンに割り当てすることもできます。

X-T2 (Version 2.10) 使用説明書： 175

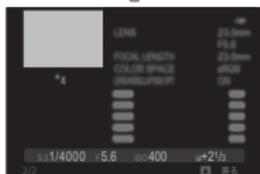
情報表示の切り替え

撮影時の情報確認

1コマ再生時に ▲ を押すと撮影時の情報を確認できます。

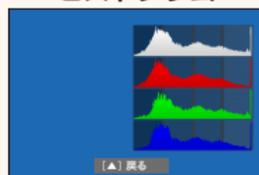


1コマ再生



INFO 画面 2

ヒストグラム



INFO 画面 1

X-T2 (Version 2.10) 使用説明書：📖 245

PC 接続モード

パソコンとカメラを接続して使用する機能を設定します。

設定	説明
USB カード リーダー	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的にメモリーカードのデータをパソコンに転送するモードになります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。
USB テザー 撮影 自動	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的に PC 撮影モードになります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。
USB テザー 撮影 固定	USB ケーブルでパソコンとカメラを接続していない時も PC 撮影モードになります。工場出荷時の設定では撮影画像がメモリーカードに記録されません。PC 撮影中に USB ケーブルが抜けるなどの異常が発生した場合も、再度 USB ケーブルを接続すると、撮影画像がパソコンに転送、保存されます。
ワイヤレス テザー撮影 固定	ワイヤレス接続で PC 撮影モードになります。 🔲 接続設定 > ワイヤレス設定 でアクセスポイントを設定してください。

設定	説明
USB RAW 現像 / 設定保存読込	<p>USB ケーブルでパソコンとカメラを接続すると、自動的に「USB RAW 現像」、「設定保存・読込」が可能なモードになります。接続していないときは通常のカメラとして動作します。</p> <ul style="list-style-type: none"> • USB RAW 現像：（使用ソフトウェア：FUJIFILM X RAW STUDIO）カメラに搭載している画像処理エンジンで、高速、高品質に RAW 現像を行います。 • 設定保存読込：（使用ソフトウェア：FUJIFILM X Acquire）カメラの設定の保存、読込ができます。カメラの設定全体を瞬時に切り替えたり、複数の同一機種カメラ間で設定を共有するときに便利です。



消費電力設定 > 自動電源 OFF の設定は、PC 撮影中も有効になります。PC 撮影中にオートパワーオフをさせたくない場合は、**自動電源 OFF** を **OFF** に設定してください。



「Adobe® Photoshop® Lightroom®」、 「Hyper-Utility Software HS-V5」、 「FUJIFILM X Acquire」 を使用すると、PC 撮影機能が使用できます。「Adobe® Photoshop® Lightroom®」 を使用する場合は別売の「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in PRO」 または別売の「FUJIFILM Tether Shooting Plug-in」 が必要です。「HS-V5」 を使用する場合は、別売の「PC 撮影専用ソフトウェア HS-V5」 が必要です。「FUJIFILM X Acquire」 は富士フィルムのホームページから無償でダウンロードできます。

X-T2 (Version 2.10) 使用説明書：📖 263

クリップオンフラッシュ・シンクロターミナルを設定する

富士フィルムのフラッシュシステムに対応したサードパーティー製のスタジオフラッシュ用コマンダーが使用できるようになりました。詳しくはご使用になるスタジオフラッシュの使用説明書をご覧ください。

X-T2 (Version 2.10) 使用説明書：📖 304

別売アクセサリ

instax SHARE プリンター SP-1/SP-2/SP-3：撮影した画像を無線 LAN で送信し、簡単にチェキフィルムにプリントできるプリンターです。

FUJIFILM

FUJIFILM Corporation

7-3, AKASAKA 9-CHOME, MINATO-KU, TOKYO 107-0052, JAPAN

http://www.fujifilm.com/products/digital_cameras/index.html

